

海況速報

平成 2 年度 第 1 号 (No.13)

平成 2 年 5 月 2 日

北海道立水産試験場

4 月 (中~下旬) の海況

遅くなりましたが、5月1日に全道の最終データが集まりましたので、4月の海況の特徴をお知らせします。
なお、参考資料ですが表層海流図も添付しました。

[日本海海域]

本道西岸沿岸域での表面~50m層水温は、道北海域ではほぼ5~6℃、道央海域では7~8℃、道南海域では9~10℃を示しています。

昨年と比べますと、各海域ともほぼ1℃以上高めとなっています。

なお、余市での4月の沿岸水温も、平年値(過去30年の平均)と比べると各旬とも1℃以上高めで、昨年夏季以降の高水温傾向が依然続いています。

[オホーツク海域]

表層では5℃以上の暖水(宗谷暖流系水)が沿岸にそってすでに網走沖まで達しており、沖合冷水域と顕著な潮境を形成しています。沖合表面でマイナス水温域はみられなくなりましたが、50m層ではマイナス1℃以下の寒冷水が斜里沿岸域まで広く分布しています。

本年は昇温が順調で、宗谷沿岸域~網走沖では昨年と比べるとかなり高めとなっています。

[太平洋海域]

道東沿岸域の表層水温は一部0℃台から2℃くらいの低水温となっています。しかし、北緯41度、東経145度~145度30分付近を中心に顕著な暖水の北上がみられます(一昨年と同様)。

道南海域では、津軽海峡東口に表面~200m層まで同じ9℃台を示す津軽暖流水がみられています。

昨年と比べますと、道東の沿岸域ではやや低めの所が多く、道南海域で全般的に1~2℃以上高めとなっています。

資料 [観測期間]

稚内水試(北洋丸)	4.16~18 (道北日本海海域)
夕	4.19~22 (オホーツク海域)
釧路水試(北辰丸)	4.16~19 (道東太平洋海域)
函館水試(金星丸)	4.20~21 (道南太平洋海域)
中央水試(おやお丸)	4.10~13 (道央~道南太平洋海域)

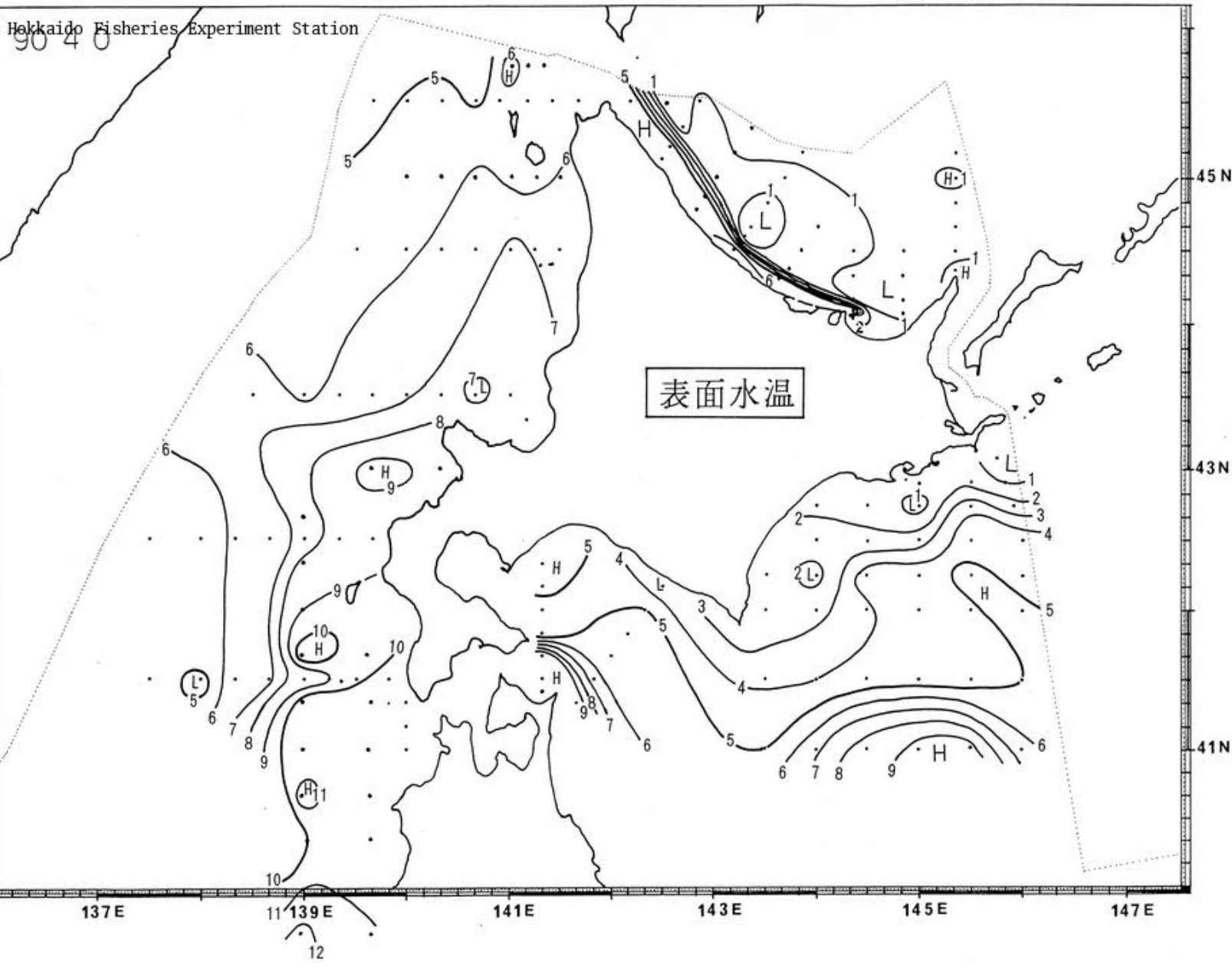
以上の定期観測のほか、おやお丸による日本海マス調査の漁場観測資料(4.16~23)を使用した。

(中水試 海洋部)

Hokkaido Fisheries Experiment Station

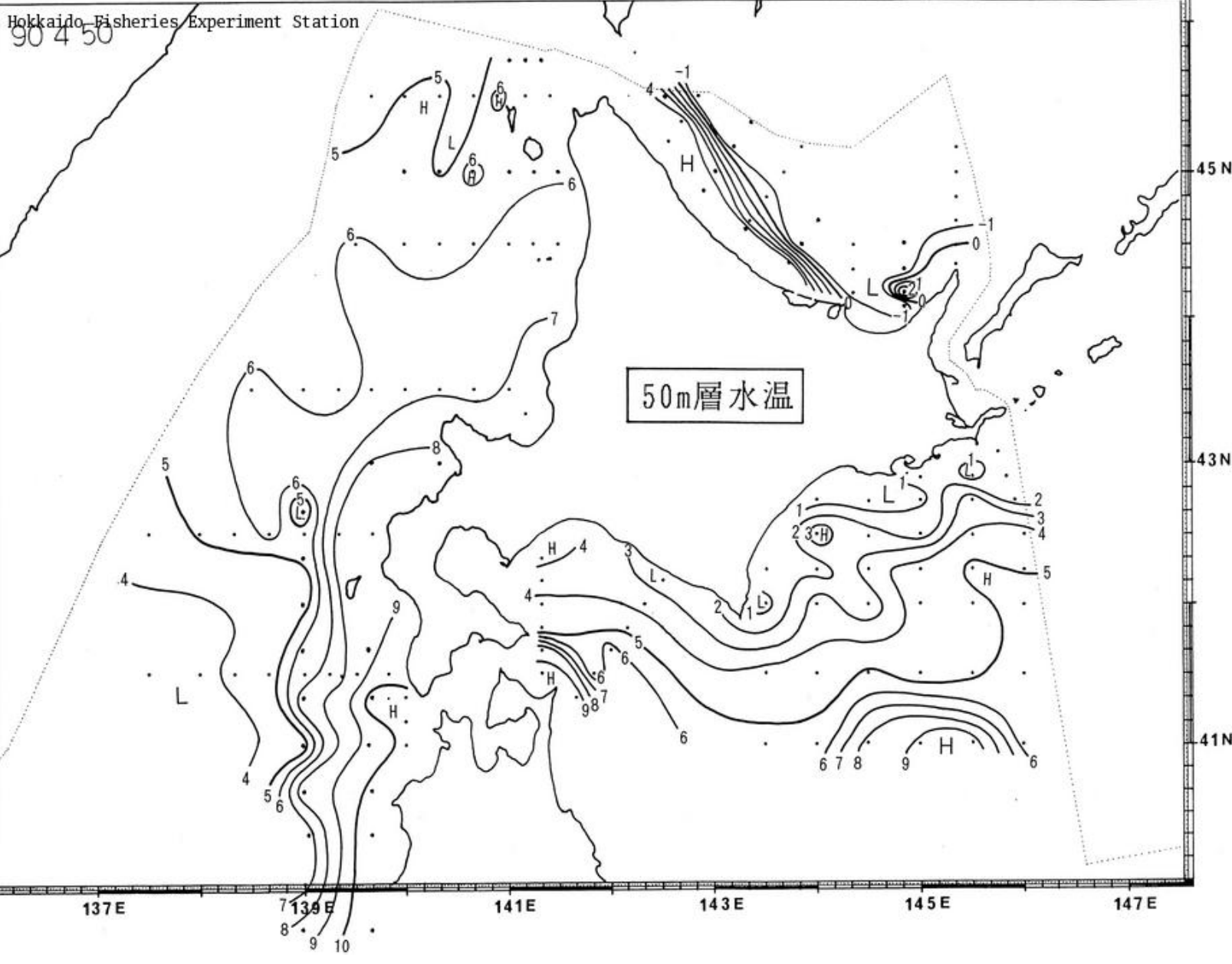
90 4 0

表面水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station
90 4 50

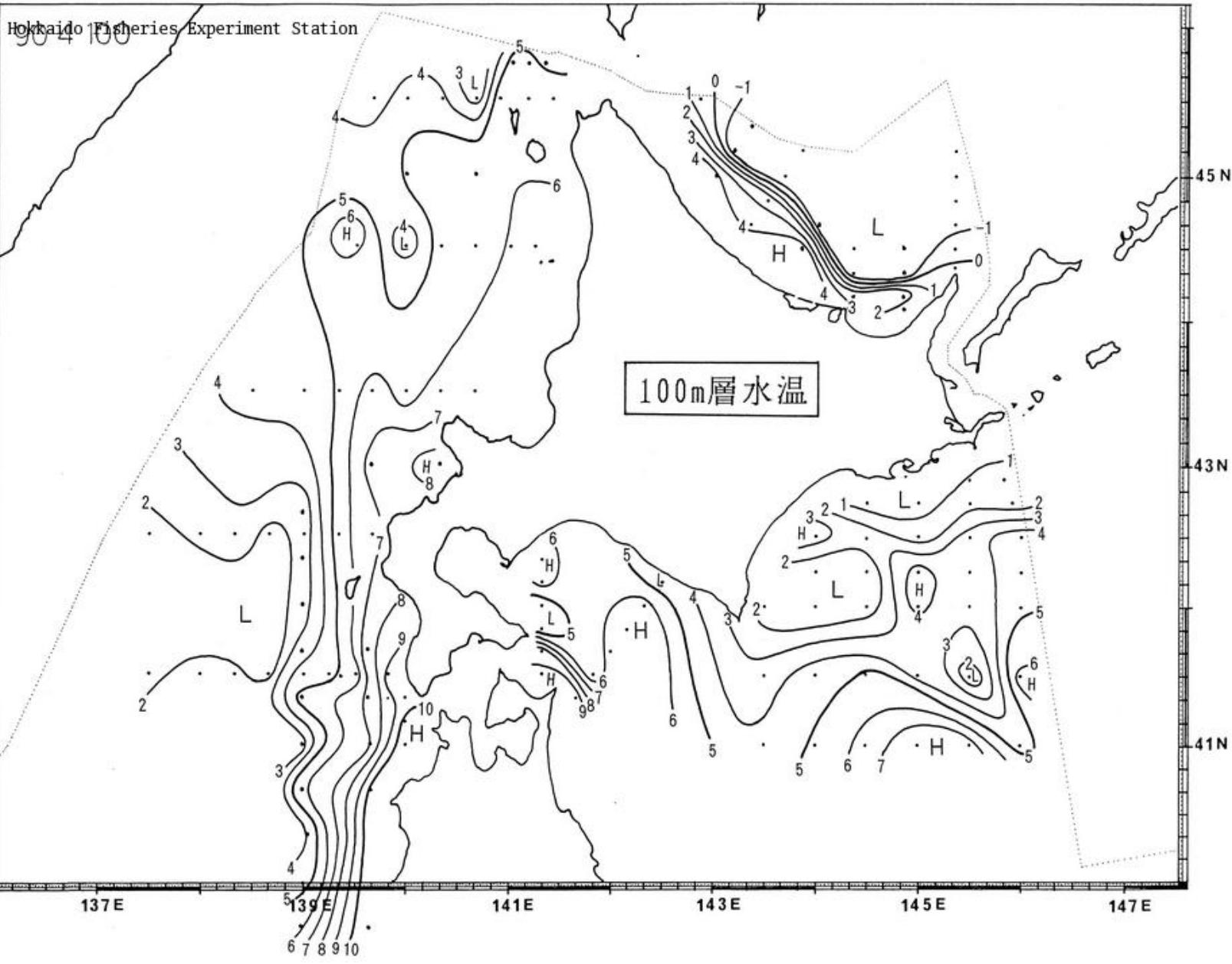
50m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

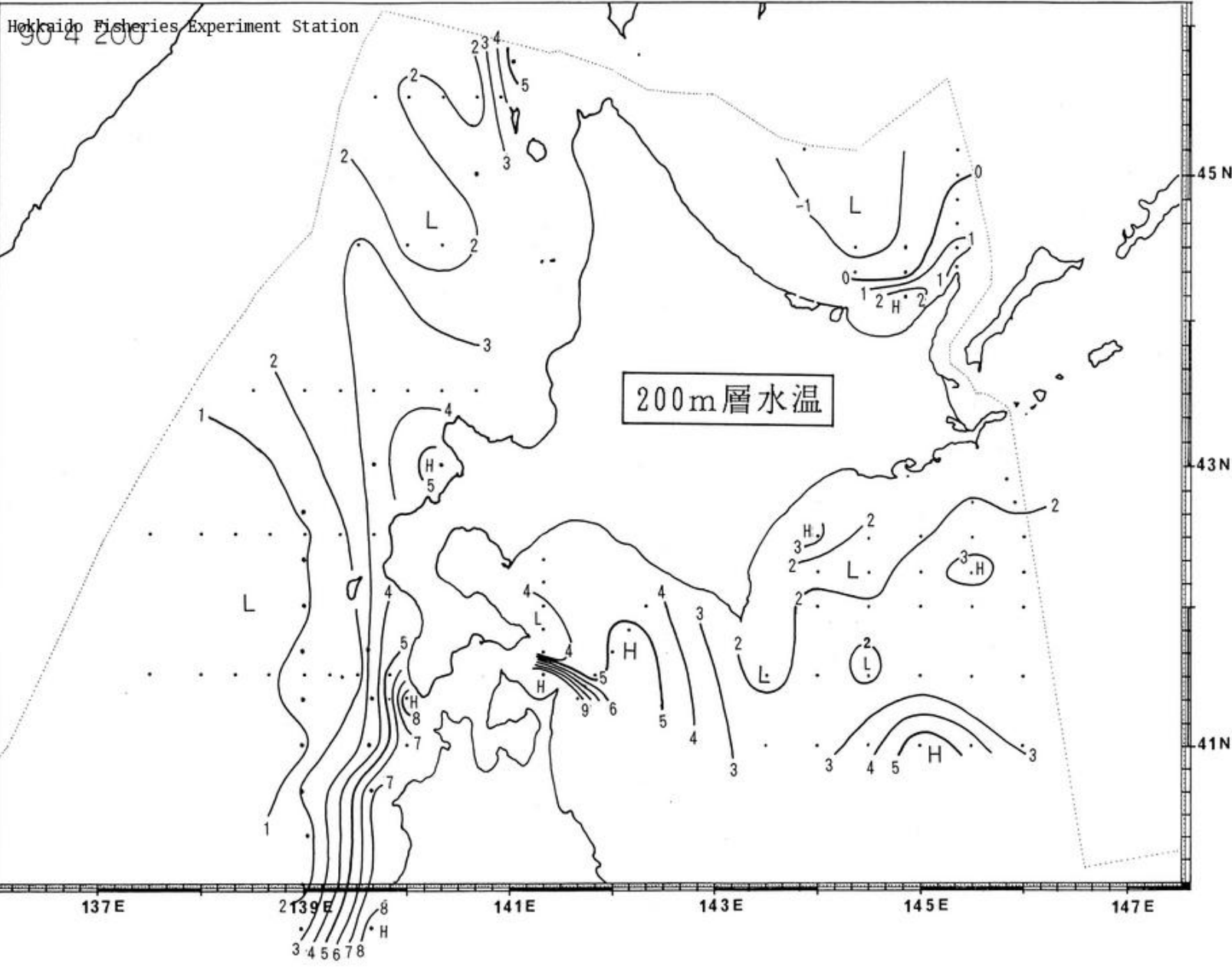
90-4-100

100m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station
90 4 200

200m層水温



137 E

139 E

141 E

143 E

145 E

147 E

3 4 5 6 7 8

45 N

43 N

41 N